様邸　作業報告書

実施日：2026 年 10 月 22 日（木）

工事内容：既存瓦撤去後、カバー工法による屋根工事

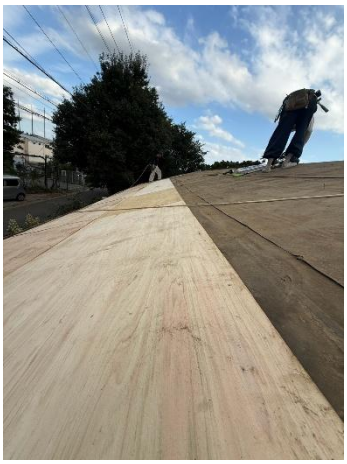
1. 本日の作業内容

・既存瓦の撤去

・瓦桟（かわらざん）の撤去

・北側屋根の下地ベニヤ貼り








【写真：瓦撤去後の屋根の状態】

2. 屋根の状態について

今回、既存の瓦を撤去したところ、防水シートに穴や劣化による隙間が確認できました。
屋根は、瓦だけで雨水を防いでいるわけではありません。瓦の下に敷かれている「防水シート」が、瓦の隙間などから入り込んだ雨水を受け止め、建物内部への浸入を防ぐ重要な役割を担っています。

しかし、防水シートが経年劣化によって傷んだり、穴や隙間が生じたりすると、雨水が屋根の内部へ入り込み、雨漏りにつながることがあります。
今回確認できた防水シートの劣化や隙間も、雨漏りの原因の一つになっていた可能性が考えられます。

3. 今後の作業予定

■ 10 月 23 日（金）　防水シートの施工
新しい屋根材を施工する前に、防水シートを張る作業を行います。
防水シートは、屋根材の隙間などから入り込んだ雨水が、建物内部へ浸入するのを防ぐためのものです。屋根を長く安心してお使いいただくために、重要な工程となります。

■ 新しい屋根材の施工
今回ご依頼いただいたカバー工法では、既存の屋根の上に新しい屋根材を重ねて施工します。
下地を整え、防水シートを適切に施工したうえで新しい屋根材を重ねることで、雨水の浸入リスクを抑え、屋根の防水性能を高めてまいります。

4. ご報告

今回の工事では、瓦を撤去したことで確認できた屋根の状態を踏まえながら、下地の調整から防水シートの施工、新しい屋根材の施工まで、各工程を丁寧に進めてまいります。
今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

おゆみ野工房
齊藤　翔生